“えこたん”と歩む

相見地区の低炭素まちづくりの取り組み

愛知県幸田町長

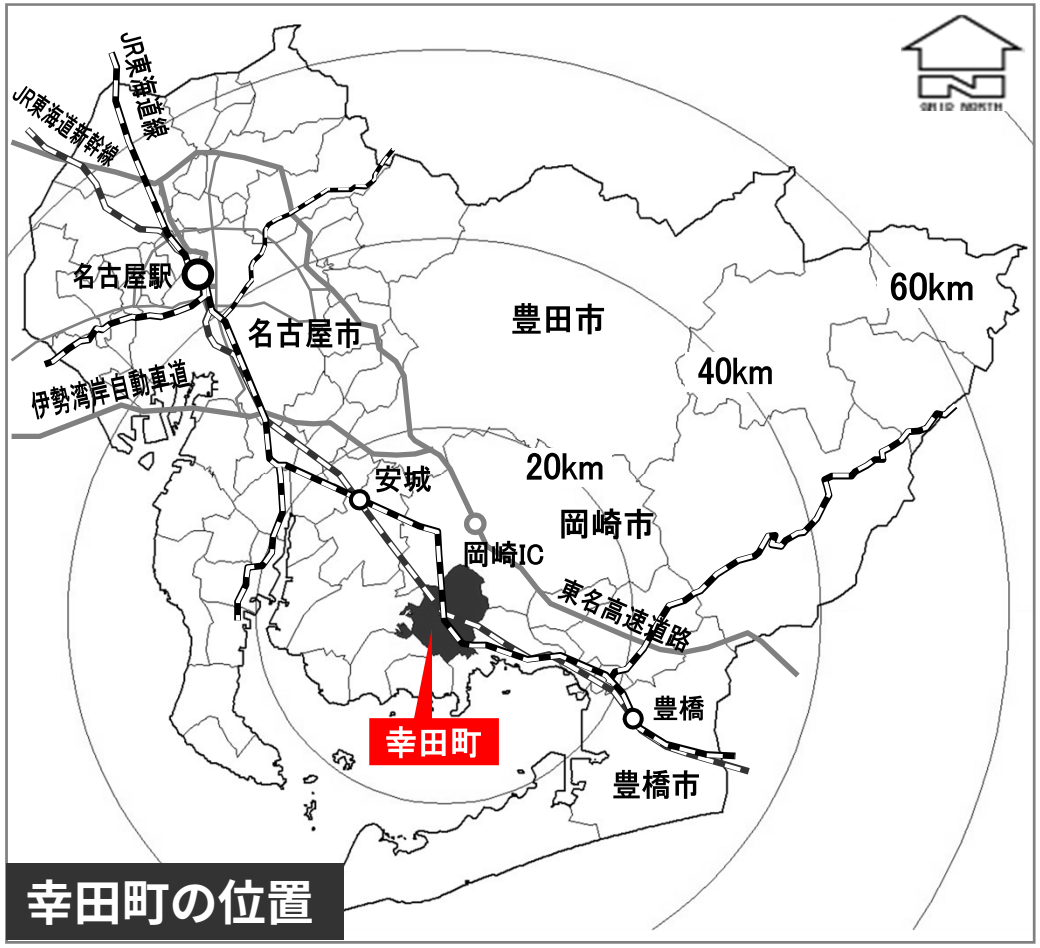
大須賀 一誠

平成25年2月12日

中部圏低炭素都市・地域づくりフォーラム

1．地区の概要

(1) 幸田町の位置

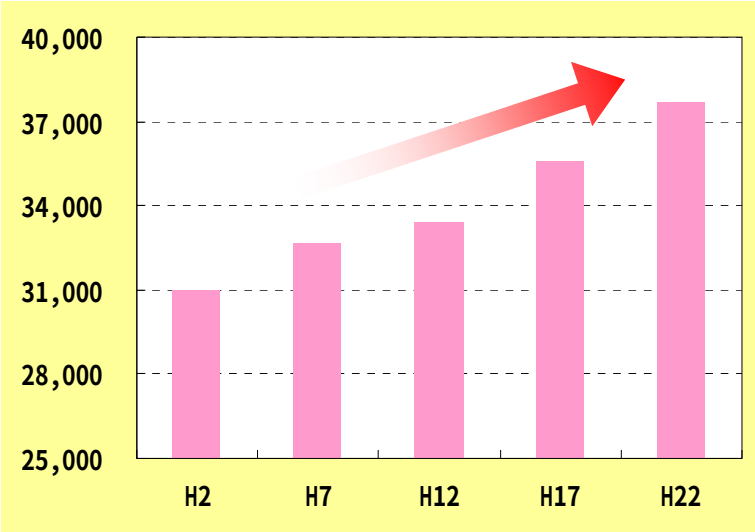


幸田町の位置

■対象地：愛知県額田郡幸田町

■面　積：56.78㎢

■人　口：38,726人
(平成25年2月1日現在)

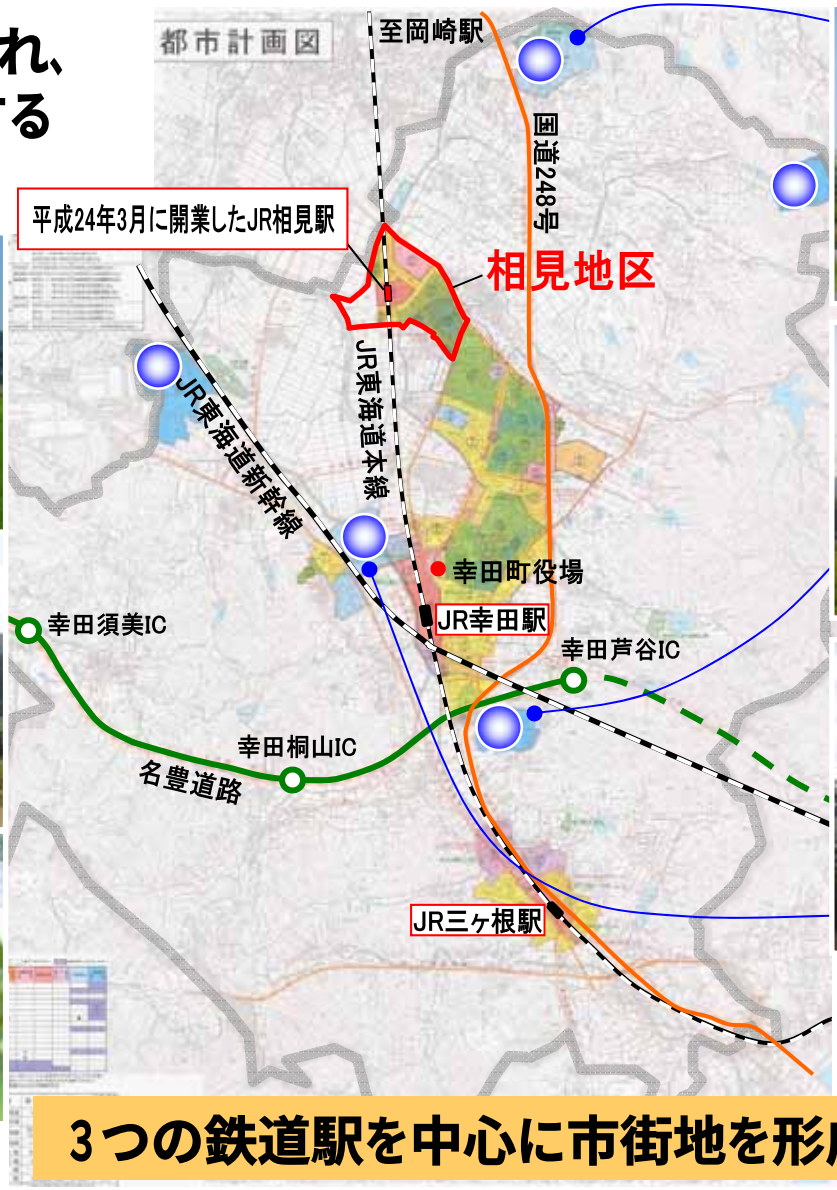


幸田町の人口推移

(2) 幸田町の特徴と相見地区の位置

豊かな自然に恵まれ、
優良企業が集積する
まち　幸田町

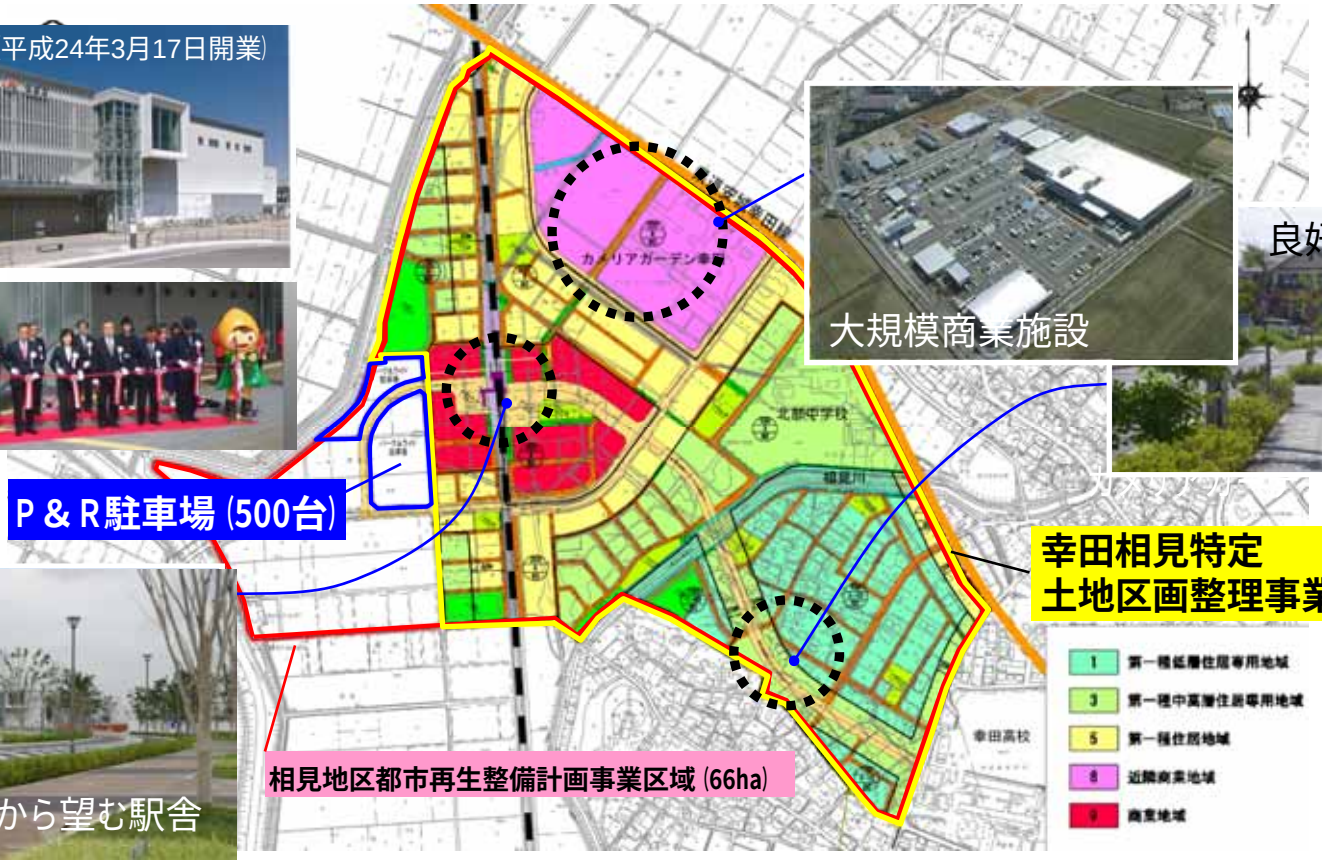
筆柿の出荷量全国1位



3つの鉄道駅を中心に市街地を形成

製造品出荷額等
愛知県下8位

(3) 相見地区の概要



区画整理概要

○事業名：幸田相見特定土地区画整理事業

○施行者：幸田相見特定土地区画整理組合　　○施行面積：54.2ｈａ

○事業期間：平成10年度～平成26年度　　○計画人口：3,500人

●特徴：駅周辺の都市機能集積（交通、都市型住宅、商業等）、良好な低層住宅地

2．相見エコまちづくり計画

(1) 計画策定の背景

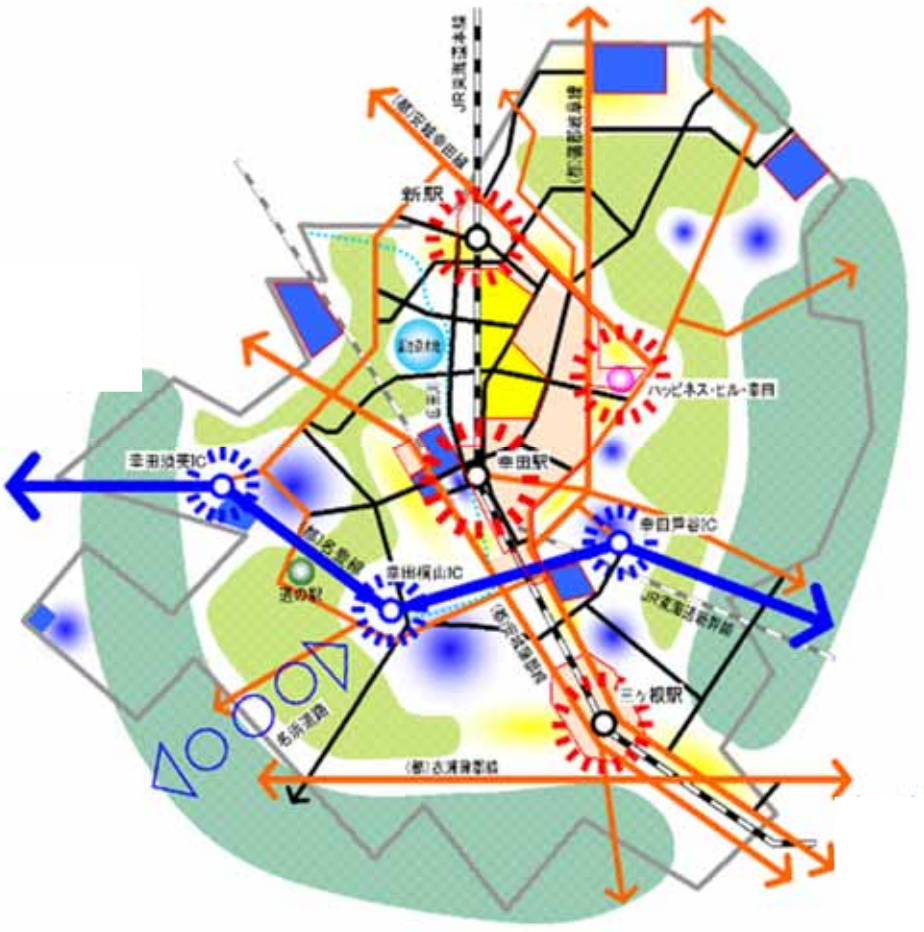
【幸田町が目指す都市像】

3つの駅を核とした集約型都市構造による低炭素型まちづくり

【相見地区の役割】

新駅及び区画整理により新しいまちづくりが展開されている相見地区を低炭素型まちづくりを牽引する地区に位置づけ

相見エコまちづくり計画の策定



将来都市構造

(2) 計画の目的

新駅開業と駅周辺の区画整理を契機とした、公共交通の利用促進等による地区レベルのCO2削減及び施策の全町的な展開

集約型都市構造への転換

1 市街地整備施策 ⇔ 2 都市交通施策

相互連携

＋

3 公民協働施策

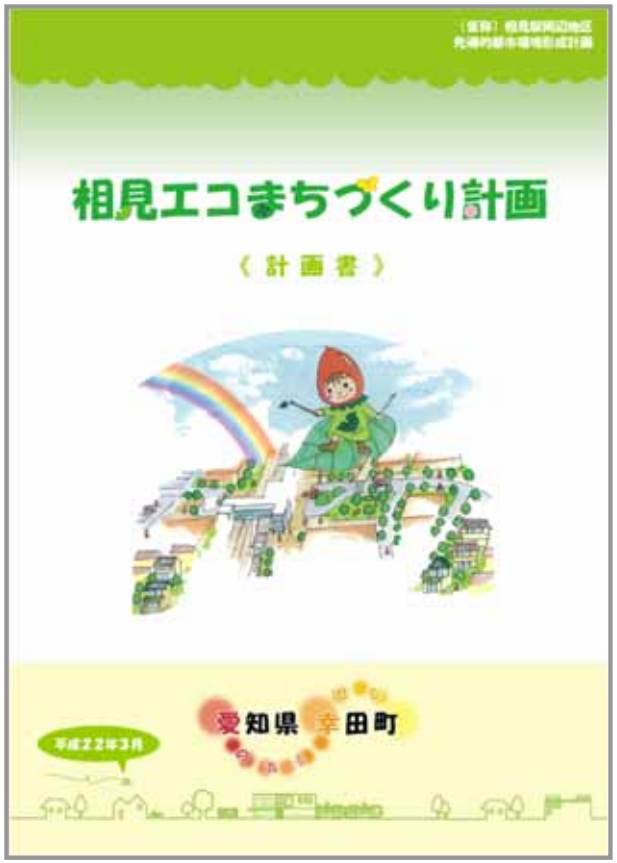
住民･企業との協働による環境活動の推進

↓

低炭素型まちづくりの実現

↓

町全域への波及



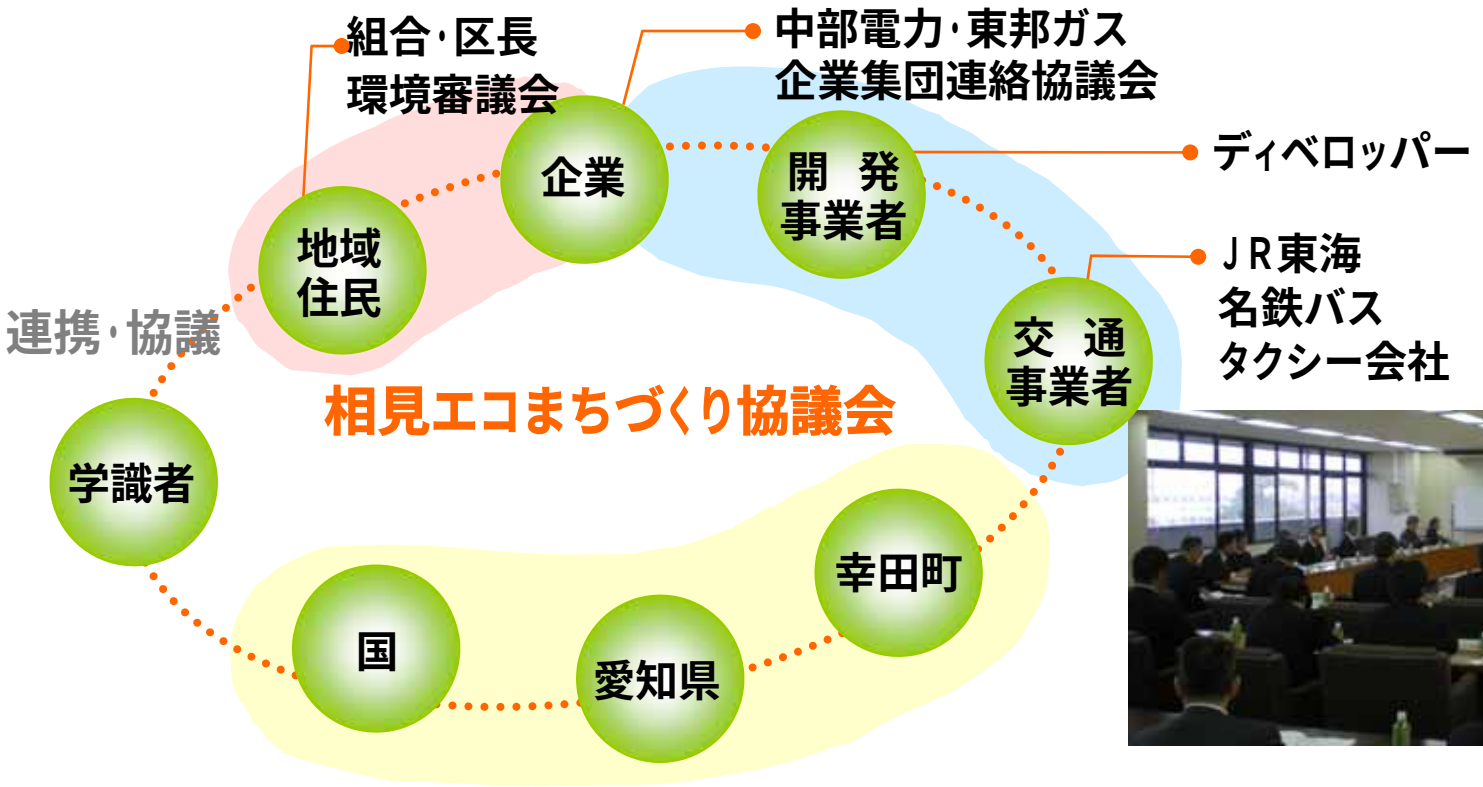
(3) 目標年次

○短　期：平成26年（5年後）

○中長期：平成31年（10年後）

(4) 計画の策定体制

・計画策定後の活動を見据えた策定体制の構築



(5) 施策の内容

1 市街地整備施策

○環境にやさしい都市構造の実現

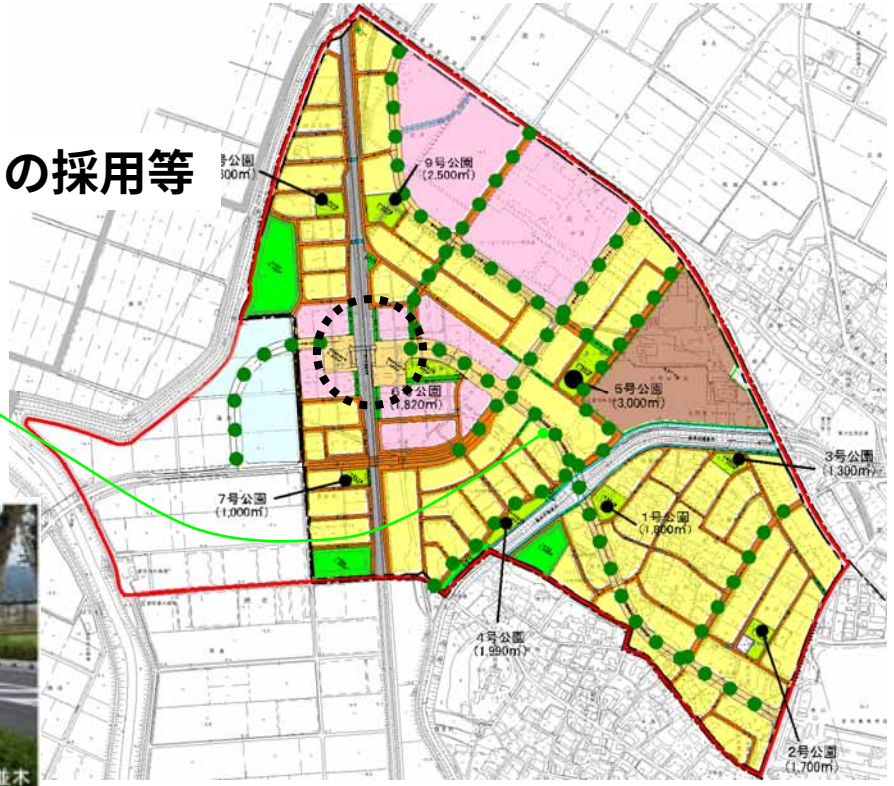
・駅を中心とした区画整理によるコンパクトな市街地形成

○環境にやさしい公共施設整備

・環境に配慮した舗装材や製品（LED等）の採用等

・街区公園の緑化率40%以上

・街路樹による緑のネットワーク形成



2　都市交通施策

○新駅と周辺施設、道路等の整備

・新駅、駅前広場、自由通路の整備
・駅へのシンボル道路（幅員30m）の整備
・Ｐ＆Ｒ駐車場及び自転車駐車場の整備

○鉄道に連絡するバス交通の整備

・バス路線の再編
・コミュニティバス（えこたんバス）の導入
・企業バスの導入促進（エコ通勤）

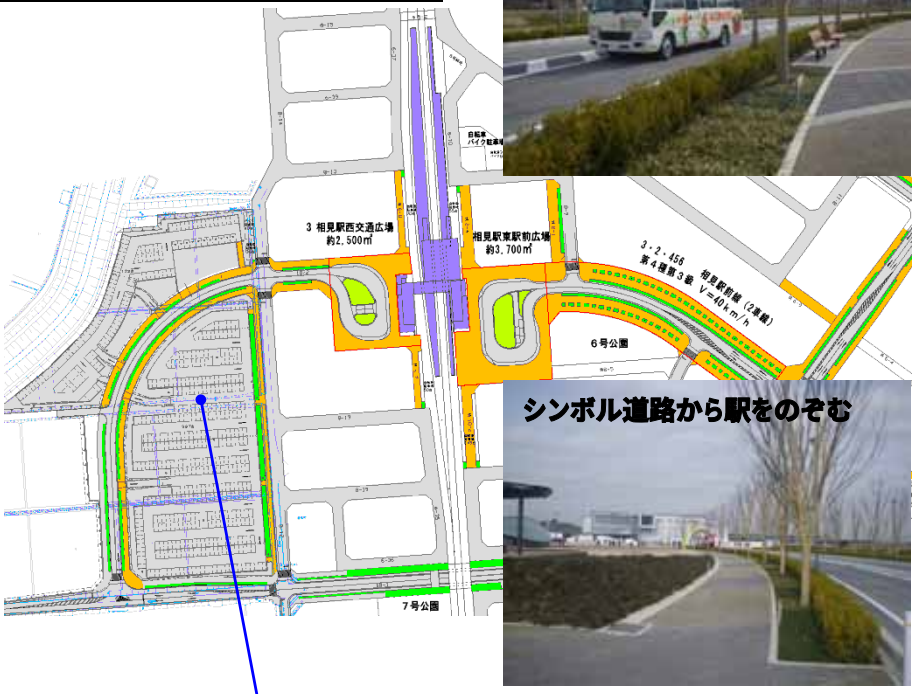
○電動アシスト自転車の利用促進

・電動アシスト自転車購入補助制度の導入検討

○クリーンエネルギー自動車の普及促進

・Ｐ＆Ｒ駐車場におけるｿｰﾗｰ充電施設の導入検討

新駅周辺の整備ｲﾒｰｼﾞ



3 公民協働施策

○環境配慮型住宅の建設促進

・パンフレットによる情報提供
・保留地分譲の際の環境配慮

○大規模商業施設における環境配慮

・環境配慮型の施設整備
・従業員の環境意識の啓発

○地域における環境への取り組み

・ワークショップによる公園整備や緑化活動
・地元企業との連携による環境教育プロジェクトの展開（植樹祭等）

○日常生活における環境への取り組みの推進

・公共交通利用の意識啓発（エコ通勤の推進等）
・環境にやさしい生活の意識啓発
（イメージキャラクターの作成）

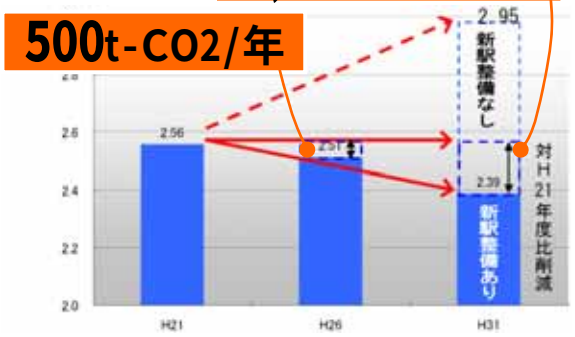
(6) 計画の目標

都市交通 (町全域)

新駅整備、P＆R駐車場、駐輪場の整備等による自動車利用から公共交通利用への転換

1,700t-CO2/年

500t-CO2/年

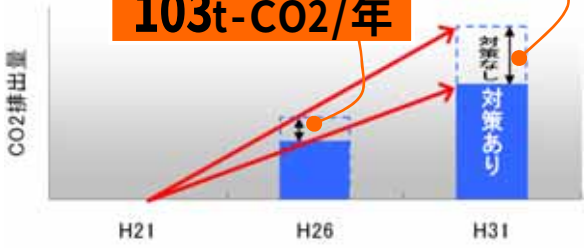


エネルギー (相見地区)

高気密高断熱住宅 (環境配慮型住宅) の導入

322t-CO2/年

103t-CO2/年

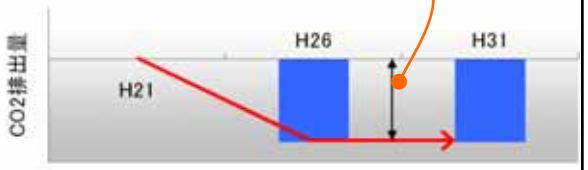


緑化 (相見地区)

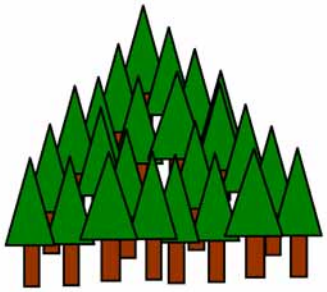
都市公園 (街区公園) の緑化率40%以上

街区公園は平成26年度までに整備完了

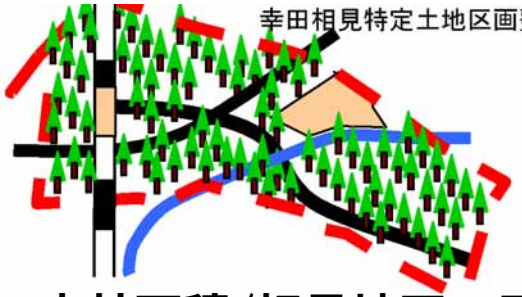
16t-CO2/年



平成31年度の年間CO2排出削減効果＝2,038 (t-CO2/年)



61,000本の高木



約30haの森林面積 (相見地区の民有宅地)

3．低炭素型まちづくりを牽引する相見地区の取り組み

(1) ”えこたん”の誕生！

①イメージキャラクター作成のねらい

低炭素型まちづくりの実現

継続的な取り組み

・低炭素型まちづくりって何？
・何だか難しそう･･･
・具体的に何をすればいいの？

低炭素まちづくりをより身近に感じてもらうため、町の特産品の「筆柿」をモチーフとしたイメージキャラクターを作成

イメージキャラクターを用いた各種環境活動の展開による

子どもからお年寄りまで参加しやすい仕組みづくり

(2) 町の顔となる新駅周辺の取り組み

①新駅周辺の高質空間を目指した公共施設整備

相見地区及び幸田町の新たな顔となる新駅周辺の高品位な整備

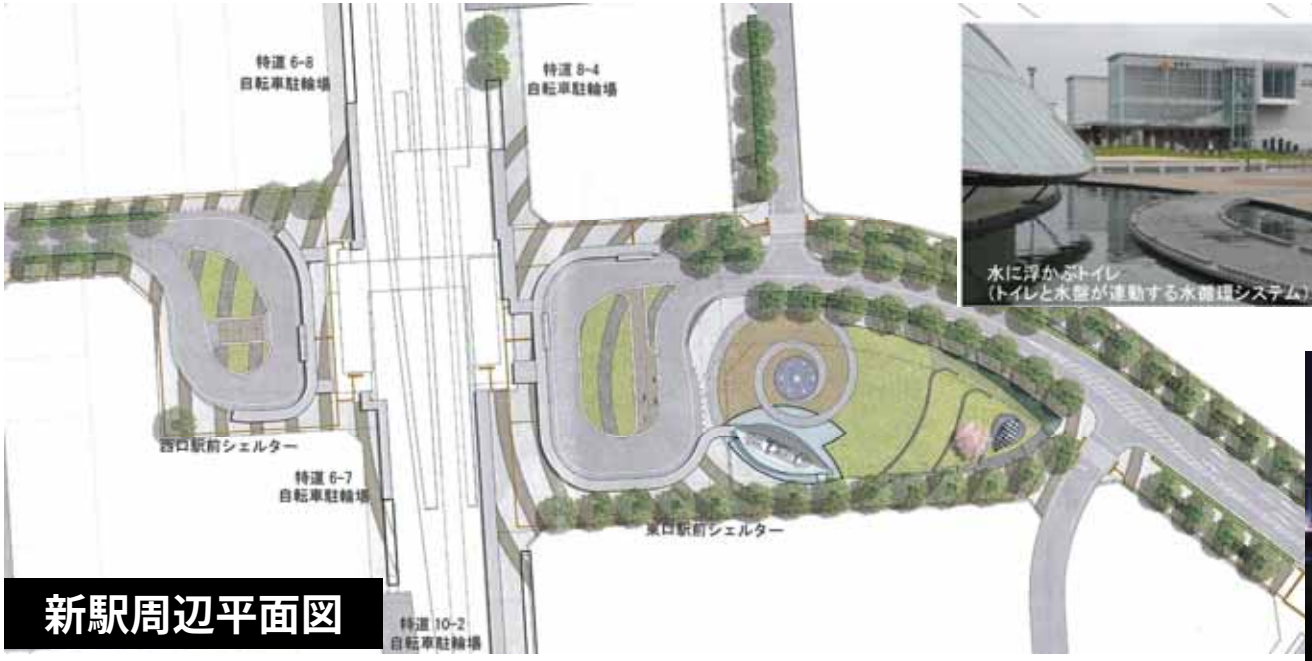
【トータルデザイン検討】

駅舎やシンボル道路からの見え方、背景となる山並みとの調和を模型で確認

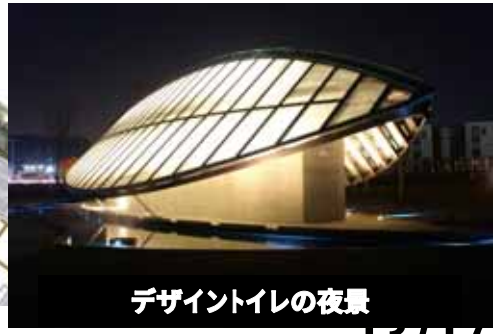
＋

【環境配慮】

・地下雨水貯留、水循環システムの導入
・保水性舗装や豊かな高木植栽による熱環境対策



新駅周辺平面図



デザイントイレの夜景

②駅前集合保留地による都市環境･景観形成

･民間活力による一体的な都市環境･景観形成

相見地区の環境に対する
取り組み内容の周知

建物緑化や自然エネルギーの活用等に貢献しうる事業者への分譲（コンペ実施）

公民協働による魅力ある都市環境･景観形成

(3) 電動アシスト自転車モニター事業の実施

①事業の目的

周囲を山に囲まれ、中心部以外は**坂道の多い地形**で自転車が利用しにくい環境

モニター事業（社会実験）の実施

・自転車普及に向けた課題の抽出
・日常生活における（電動アシスト）自転車の利用促進

②事業概要

■**事業期間**：H22年7月～H23年1月
■**対 象 者**：日常行動に自動車を利用の方
①企業モニター（10台）：15社
②町民モニター（ 8台）：延べ100人
■**貸し出し期間**：2週間～

(4) まちの緑化に向けたワークショップの開催

①ワークショップのねらい

・ワークショップを通じた**地域の交流の場**の提供
・ワークショップを通した**地域コミュニティ形成**による継続的な緑化活動
・**住民意向を反映**した公園づくりと緑化ガイドラインの作成

②公園づくりワークショップの開催

・**4つの街区公園**のワークショップを同時開催
・各公園の検討結果を相互に報告し合うことで**プランの精度を高める**とともに、**コミュニケーション**を深めた

③植樹祭の開催

・**あいち森と緑づくり事業**を活用して植樹祭を開催
・**記念セレモニー**のあと、各公園で樹木や花を植樹
(約200人の地域住民が参加)

4．おわりに

- **現在、区画整理組合や住民、企業との協働のもと、低炭素まちづくりの実現に向けた各種取り組みを展開中**
- **今後は、環境改善効果を検証し、必要に応じて施策メニューを見直しながら計画を実行**
- **相見地区及び幸田町は、これからも“えこたん”とともに、低炭素なまちの実現を目指して歩んでいきます！**

ご清聴　ありがとうございました